



はんなん  
Hannan City Council

# 市議会だより

2022年  
令和4年  
8月号  
NO. 125

発行: 阪南市議会 編集: 議会広報編集委員会 〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1 TEL 072-471-5680 (直通)



▲ 市内の小学校3年生の皆さんが市役所の見学に来てくれました。  
(写真は舞小学校の皆さんの議場見学の様子。)  
(写真撮影時のみマスクを外しています。)



▲市制施行30周年  
キャラクター作品  
大賞 なずっち



令和4年度補正予算等を可決 ..... 2

一般質問 ..... 5



「阪南市子育て拠点再構築」について ..... 11



はんなん市議会だより  
Webサイト

# 第2回定例会

## 令和4年度一般会計補正予算(第2号)を可決

コロナワクチン接種の期間延長や4回目接種実施にかかる補正予算等、可決しました。

### 補正予算

令和4年第2回定例会を6月8日から6月23日までの16日間の会期で開催しました。本定例会では、令和4年度補正予算5件等をはじめ、条例制定1件、条例改正2件を全会一致で可決・承認しました。また、議会から提出した意見書1件を全会一致で採択しました。

#### 〔令和4年度阪南市一般会計補正予算(第2号)〕

#### 一般会計補正予算(第2号)

本補正予算の主なものは、新型コロナウイルス感染症対策に関連して、

- ①生活困窮者、自立支援金の申請期限延長に伴う新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業
- ②低所得者世帯の子育て世帯を見舞う子育て世帯生活支援特別給付金事業
- ③ワクチン接種の期間延長や4回目接種実施にかかる経費

他にも、大阪府宝くじ社会貢献広報市町村補助金を活用した、いずみ鳥取台公園の老朽化した公園遊具施設等のリニューアル工事費への予算計上等で歳入歳出1億7394万4千円増の191億9932万円とするものです。

本議案は、予算常任委員会に付託しました。委員会における主な質疑・答弁・意見は、次のとおりです。

**委員** 債務負担行為補正の緊急自動車購入業務2323万8千円は、歳出でも該当するものがあるが、違いを説明いただきたい。

#### 危機管理課長

債務負担行為補正は消防団のポンプ車購入である。当初予算にて計上していたが、昨今の半導体不足から年度末に車両の納期が間に合わないため、来年度末の納期に合わせ債務負担補正を行ったものである。そのため当初予算で計上している緊急自動車購入費等2323万8千円は減額補正を行った。



**委員** いずみ鳥取台公園リニューアル工事の内容と財源について伺います。

#### 道路公園課長

平成27年度策定の公園遊具長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の更新を行うものであり、財源は、大阪府宝くじ社会貢献広報市

町村補助金を活用して整備する。いずみ鳥取台公園については、長寿命化計画において遊具がC判定であり、健康遊具を含め4つの遊具の更新を行う。  
※C判定：直ちに、遊具修繕が必要ではないが、劣化がある状態。

**委員** いずみ鳥取台の遊具の利用はどれくらいあるのか。

#### 道路公園課長

この公園については、自治会に管理していただいております。高齢化に伴い児童の利用が少なく、以前から遊具をそのまま交換するのではなく、高齢者も利用できる遊具の交換を自治会から要望されていたことから、この公園を選んだ。



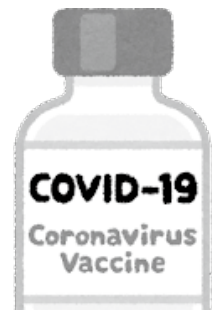
▲現在のいずみ鳥取台公園

**委員** コロナワクチン4回目接種の委託料について伺う。

**健康増進課長** 当初予算では、3回目接種について令和4年7月までの接種に関する費用を計上していたが、9月まで延長となったため、その分を見込んで計上を行った。また、4回目接種が始まったことにより、それにかかる費用もプラスして計上している。

**委員** 4回目ワクチン接種の60歳以上は努力義務である。ワクチン接種の状況について、65歳以上の接種1回目と3回目接種率では、数値が下がっており、人数になると1000人が減少する状況である。予防を図るうえで、4回目接種を含めた高齢者の接種率引き上げについての認識と取組について伺う。

**健康増進課長** 現在、4回目接種について接種実施計画を策定している。なかでも60歳以上については、接種率を80%に見込んで目標達成に向けて取り組みたいと考えている。60歳以上の方で2月までに接種された方は、6月1日においてすでに個別通知を送している。今後も7月中旬以降、順次個別通知を送送してまいる。医療機関にも協力いただき、接種できる体制を整えている。また、ホームページや広報はなんなんにおいて啓発に努めていく。



**委員** 乳幼児等予防接種助成金の子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種について、周知・啓発について伺う。

**健康増進課長** 市内の学校に通う小学6年生から中学3年生の女子に対しては学校を通じてお知らせチラシを配布、高校1年生や市外の学校に所属している小学6年生から中学3年生の女子には個別通知を送っている。キャッチアップの対象となる平成9

年4月2日から平成17年4月1日までに産まれた女子についてはハガキで個別通知し周知に努めている。

**委員** 総合支援法関係システム改修委託料の内容について伺う。

**市民福祉課長** 国が令和5年度に予定している障がい福祉関係データベースシステム稼働に向け、本市が現在使用している障がい者総合支援法関係事務システムにおいて、必要な機能

等を付加するための改修が必要となり、そのための、改修費として341万円を計上している。なお、国の補助率は2分の1で、地域生活支援事業費国庫補助金で170万5千円を歳入計上している。

**委員** 本市の海洋教育について、今年度も精力的に進めてもらっていると思うが、進捗状況とスケジュールについて伺う。

**学校教育課長** 本年度も引き続き、海洋教育パイオニアスクールプログラムを活用し、さらに今年度はアドバンス部門を活用している。昨年度までの3年間の実績を踏まえて海洋教育副読本を作成した。それらを活用しながら、さらに進めて取り組んでいきたいと考えている。

**委員** 取り組んでいる学校と取り組んでいない学校があるが今後、取り組んでいない学校への導入についてはどう考えているのか。

**学校教育課長** 副読本については、実施していない学校にも配布しており、副読本を活用しながら、海洋教育を含めた環境教育を行っているところであるが、子ども達に何か参加できるプログラムを開発できないかと考えている。

**委員** 海を取り巻く教育は、大阪でも珍しい取組であり特徴ある教育として今後も進めていただきたい。

**委員** 外国語通訳報償費が計上されているが説明いただきたい。

**学校教育課長** 今年度、外国籍の子どもとの転入に伴い、通訳や日本語指導が必要となるため、その支援のために計上している。

**委員** 最近の外国籍の子ども・外国からの帰国子女を含めて、本市の状況について伺う。

**学校教育課長** 今年度に入り、新たに通訳支援等の必要な子どもの転入が2名あり、現在あわせて5名の子どもに対して通訳支援等を行っている。

◎全会一致で可決





## 意見書 を採択し、大阪府教育委員会に送付しました。

### ○大阪府立泉鳥取高校統合に関する意見書（全会一致）

《要旨》

令和4年3月24日開催の大阪府議会定例会において、「府立学校条例改正案」が可決され、本市にある泉鳥取高校が令和6年度末をもって閉校となることが正式に決まりました。

同校がこれまで果たされてきた実績は、まちづくりという観点においても大きな役割を担ってきたところであり、同校を失う影響は計り知れません。その影響を少しでも抑え、また、地域の社会資源としての機能をさらに高めるためにも、同校の今後の有効活用は、大きな課題となります。

ついては、今後の同校跡の利用にあたり、大阪府教育委員会もしくは大阪府として、本市ならびに近隣市町の成長・発展に資する施設への転用を強く求めるところです。その際、本市と十分に協議を行っていただくよう、併せて要望します。

また、同校の機能統合の理由として、「泉鳥取高校に通っている生徒の出身地域に在籍する中学生の修学機会が確保できること」があげられています。よって経済的あるいは身体的精神的な理由によって遠距離通学が難しい本市の中学生の進学先として、一番近い公立高校となるりんくう翔南高校への入学に、配慮をいただくよう、要望します。

## 第2回定例会にて可決・承認した議案等一覧

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第3号〕阪南市税条例等の一部を改正する条例制定について
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第4号〕令和3年度阪南市一般会計補正予算（第14号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第5号〕令和3年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第6号〕令和3年度阪南市財産区特別会計補正予算（第1号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第7号〕令和3年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第5号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第8号〕令和3年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第9号〕令和4年度阪南市一般会計補正予算（第1号）
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第11号〕阪南市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第12号〕阪南市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

- ・専決処分事項の承認を求めることについて〔専決第13号〕阪南市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて
- ・阪南市環境審議会条例制定について
- ・阪南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・阪南市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ・令和4年度阪南市一般会計補正予算（第2号）
- ・令和4年度阪南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度阪南市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・令和4年度阪南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・専決処分事項の報告について〔専決第10号〕損害賠償の額を定め、和解することについて
- ・令和3年度阪南市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・阪南市指定金融機関の指定について
- ・令和4年度阪南市一般会計補正予算（第3号）

# 第2回 定例会

# 一般質問

11人の議員が個人質問を行いました。  
その主な内容を掲載します。



## 行財政構造改革プラン改訂版の 進捗と減免制度の見直しについて

無会派の会

しょうこう  
上甲 誠



**問** 行財政構造改革プラン改訂版の進捗状況について問う。また減免制度の見直しは市民の関心も高く、ピンチはチャンスであると考え。市民に寄り添い、市民各々のワガゴトになる事によって阪南市の人口を増やす取組につながる。たとえば、子育て関連団体やコロナフレイル予防につながる活動には減免をさらに拡充し、市民の社会教育、生涯学習、市民活動を活性化させることにつながると考えるがいかがか。

コロナフレイル予防につながる活動等には減免拡充することが市民活動等を活性化させることにつながると考えるがいかがか。  
公正性、公平性もご理解していただきながら、活動を前へ進めていきたい。(市長)

**答** 財政シミュレーションでは、計画期間中赤字に陥ることなく、15年後の実績収支額は約18億円の黒字を維持できる。コロナフレイルゼロ運動はある意味社会教育活動と捉えている。減免の見直しについては、意見は頂戴するが、個人の健康自立の問題等に対しては市民の皆さんのご理解、ご支援がなければいけない。そういった意味で公正性、公平性もご理解していただきながら、活動を前へ進めていきたい。



## 阪南マイナポイント事業の 実施について

公明党

ふくだ  
福田 雅之



**問** コロナ禍における物価高騰などから、市民生活を守るための対策として拡充された、地方創生臨時交付金を活用した支援について、公明党阪南市議団で要望活動を行った。その中に、自治体マイナポイント事業を実施し、積極的に取り組む事である。本市の、マイナンバーカードを活用した市民サービスの提供、さらなる普及策となる自治体マイナポイント事業の実施についてお聞きする。

**答** 自治体ポイント事業は、国のマイナポイントの基盤である決済サービス事業者との連携の仕組みを活用した自治体によるキャッシュレス決済サービスで利用できるポイント給付施策である。当事業は、マイナンバーカードの普及、キャッシュレス決済の利用促進地域の消費喚起、地域経済の活性化につながるものであることから、今月に予定されている国の説明会を踏まえ、進めてまいりたい。

自治体マイナポイント事業の実施についてお聞きする。  
今月6月に予定されている国の説明会を踏まえ、進めてまいりたい。(未来創生部長)



## その他の質問事項

○阪南市の教育(コミュニティ・スクール)について



▲各クラブ活動の場である尾崎公民館

## その他の質問事項

○デジタル田園都市国家構想に  
ついて





### 鴻の台近隣排水処理一体整備について

大阪維新の会

やまもと みつお  
山本 光男



給食センターの排水と近隣地区を一体として排水整備すれば個別で行うよりコスト削減できると考えられるが、本市の考えはいかがか。  
**提案の地区の一体整備は非常に困難と考える。**  
**(都市整備部長)**

**問** 給食センターの排水設備に数億円かかる予定だと聞き及んでいる。過去に本市は、民間業者が設置したコミュニティプラントから公共下水道への切り替えのための接続を順次進めてきた。鴻の台地区は民間業者も撤退し、阪南市の整備からも放置された状態が続いている。給食センターの排水と近隣地区を一体として排水整備すれば個別で行うよりコスト削減できると考えられるが、本市の考えはいかがか。

**答** 給食センター付近への排水整備については、流域下水道の接続点がなく、新たに大阪府において接続点を整備していただくか、いずみが丘への進入路付近の接続点まで、旧国道26号に公共下水道を整備する必要がある。旧国道26号は重要な埋設物が多く、埋設物を避けて污水管を埋設しなければならぬ可能性が高いことから工事費が多額になると想定される。よって、提案の地区の一体整備は非常に困難と考える。



### その他の質問事項

○教育について  
○下水道事業について



### 不妊治療保険適応後の市の取組について

大阪維新の会

もも まさ  
百々 麻希



市の不妊治療保険適応後の独自助成事業について問う。  
**7月の事業実施に向け、これまで同様1人当たりの助成金額を上限5万円とする制度設計をしている。**  
**(市長)**

**問** 少子化が急速に進む中、令和4年4月1日から不妊治療保険適応が始まった。不妊治療は高額であるだけでなく、心身共に負担が非常に大きい。しかし現在16人に1人が不妊治療で生まれており年々増加傾向にある。少子化を抑制し、子どもを授かりたいのに授けられない方々に寄り添う、本市の独自の助成事業が必要であると訴え続けてきた。市の不妊治療保険適応後の独自助成事業について問う。

**答** 本年4月から、一般不妊治療及び生殖補助医療については保険適用されることとなり、本市においてはこれまで大阪府、近隣市町の動向を注視してきたところである。現在、本年度から本市の助成事業については、7月の事業実施に向け、これまで同様1人当たりの助成金額を上限5万円とする制度設計をしているところ。今後も子どもを持ちたいという方々への経済的負担の軽減に取組を進めてまいります。



### その他の質問事項

○阪南市の健康づくりについて



## 議会目録

4月

- 8日 議会広報編集委員会
- 14日 近畿市議会議長会総会
- 21日 議員連絡会・議会改革推進検討会
- 26日 議会改革推進検討会行政視察(岸和田市議会)

5月

- 18日 厚生文教常任委員会
- 20日 議員連絡会・議会改革推進検討会
- 25日 全国市議会議長会総会及び各委員会合同会議
- 27日 近畿市議会議長会第1回監事会
- 30日 泉南清掃事務組合議会議員全員協議会

6月

- 2日 議会運営委員会
- 8日 本会議(1日目)
- 9日 本会議(2日目)
- 10日 本会議(3日目)
- 15日 予算常任委員会
- 16日 子育て拠点整備特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 議員連絡会・議会運営委員会
- 23日 議会改革推進検討会
- 23日 本会議(最終日)
- 30日 泉州南消防組合議会議会運営委員会・全員協議会
- 議会改革推進検討会行政視察(大阪狭山市議会)



次世代への教育投資について

大阪維新の会

わたなべ ひでつな  
渡辺 秀綱



**問** デジタル技術は物理的な距離をゼロに変えることから、その学びは若年世代流出への歯止めや「Uターン」による就労拡大の可能性を秘める。その為、行財政改革によって財源を生み出し、次世代への「ICT教育」への重点投資を行うべき。本市が他市からの流入促進を計画するグローバル&デジタル人材をこのまちで生み育み、国平均の倍で減少している労働力人口維持に努めるべきと考えるが見解を問う。

**答** 「ICT技術」により地域課題の解決が図られ、暮らしの安心安全を守り「共創のまちづくり」を本市は掲げている。大阪関西万博を機に社会が大きく変化する中、まちを背負い、世界で活躍する次世代を育成することは自然に恵まれ安心して暮らせる「持続可能なまちを創る」ことに直結する。『これからの学びに何が必要か?』改めて教育長や教育委員会の話を聞き、子どもたちへの投資を確実に実施していく。



市の成長策として、デジタル人材を生み育む、次世代への「ICT教育」へ重点投資すべき。  
『これからの学びに何が必要か?』改めて教育長や教育委員会の話を聞き、子どもたちへの投資を確実に実施していく。(市長)



阪南市の防災対策について

大阪維新の会

すみの のぶかず  
角野 信和



**問** 不幸にも災害が発生した後、市役所業務が停滞することなく、災害物品の供給・業務支援さらには災害弱者の避難などが必要になる。その備えについてお伺いする。  
業務継続計画・災害時受援計画・災害協定が有機的につながることで、災害対応能力が向上し、災害に強いまちができると考える。

**答** 災害時の備えとして、災害発生後に迅速に災害応急措置や物資の供給等が進められるよう、災害協定の拡大に取り組み、現在55の企業・団体等の皆様に協力をいただいている。  
業務継続計画と災害時受援計画は緊密な関係にあると考えており、まず本年度に災害対策の指針となる「阪南市地域防災計画」の改定に取り組み、その成果を踏まえ、令和5年度末に「災害受援計画」の完成を目指したい。

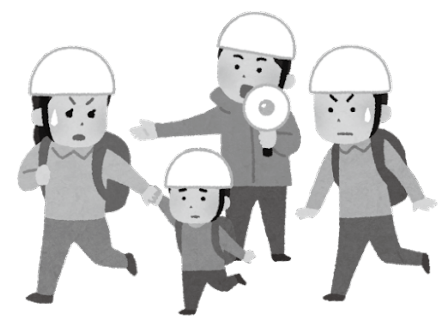


災害が発生した後、災害物品の供給・業務支援等が必要になる。その備えについてお伺いする。  
災害協定の拡大に取り組み、現在55の企業・団体等の皆様に協力をいただいている。(市長)



その他の質問事項

成長戦略について



請願・陳情の出し方

請願書、陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願(陳情)書は、その件名、要旨及び理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いてください。
- ③ 請願書は1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名または記名してください。
- ④ 紹介議員がないときは、陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な略図・図面等を付けてください。

《記入例》

<p>(表紙) ※(請願の場合) 紹介議員 氏 名</p> <p>〇〇に関する請願(陳情)</p> <p>請願(陳情)者 住 所 氏 名</p>	<p>(内容) 〇〇に関する請願(陳情)</p> <p>(要旨)</p> <p>(理由)</p> <p>令和 年 月 日 阪南市議会議長(氏名)様</p>
--	---

※請願・陳情に記載された個人情報(住所、氏名等)については、会議録等へ掲載されるほか、行政文書として情報公開の対象となりますので、ご了承ください。

乳幼児期の運動の必要性について

市民くらぶ

あさい たえこ  
浅井 妙子



問 乳幼児期に育まれていく基礎的な運動への取組は、今、大きな課題と感じる。近年は、家庭環境の変化で、家に新聞やチラシがない、触れられて困るものは子どもが使えない仕組みになっている、公園の遊具が減ったなどあそびの空間やモノがなくなったことで子どもたちの自然な「運動」や「発達」のきっかけを失っている現実がある。そういった現状についての認識と、対応についてお聞きする。

子どもたちの自然な「運動」や「発達」のきっかけを失っている現実がある。現状についての認識と対応についてお聞きする。全身運動を伴う動的な遊びを経験する大切さを保護者の方に理解していただけるよう伝えてまいります。(こども未来部長)

答 保育所・幼稚園では、日常的に運動遊びを取り入れている。子育て総合支援センターでも親子で体をしっかりと動かせる機会をつくっていただいている。子どもたちが、楽しみながら自分から体を動かすことを好きになることが体力づくりの基礎となる力につながっていくこと、全身運動を伴う動的な遊びを経験する大切さを保護者の方に理解していただけるよう、今後ともそれぞれの場で伝えてまいります。



その他の質問事項

- 広報はんなりははんなんTV・SNSの活用について
- 「多様な価値観」ゆるやかな関係「活動団体との連携」について
- 子どもの権利条約の進捗について
- 「生命の安全教育」について
- 学校・園に行きにくい子ども・家庭への支援についてなど



マイナポイントの取得支援について

公明党

やまもと まる  
山本 守



問 マイナポイントの普及を後押しする「マイナポイント事業」第2弾が6月30日から始まる。マイナポイント事業を巡って公明党は、デジタル社会の基盤となるマイナポイントの普及を促進し、消費を喚起する施策として、強力的に推進してきた。市役所にあるマイナポイント窓口だけでなく、市民の地元に来て住民センター等の場で取得手続きや回覧板等で取得したい希望を募ることはできないか。

住民センター等の会場で取得手続きや回覧板等で取得したい希望を募ることはできないか。公民館などで行う市民説明会やイベントなどの場も含めて、効果的な出張支援を行うなど、取得の促進を図ってまいります。(未来創生部長)

答 現在、市役所のマイナポイント窓口の支援員は2名であるが、マイナポイントの第2弾を踏まえ、1名増員して支援体制の強化を図ってまいります。また、マイナポイントの取得については、広報はんなりや市ウェブサイトで周知を行っている。今後、SNSや回覧板などで周知を行うとともに、公民館などで行う市民説明会やイベントなどの場も含めて、効果的な出張支援を行うなど、取得の促進を図ってまいります。



その他の質問事項

- 阪南市総合計画について



「定例会及び委員会の録画映像」を見ることができます。

市議会のウェブサイトでは、次回定例会のご案内や一般質問通告書、議決結果表、議会だより、定例会の「録画映像」等を掲載しています。

また、「会議録検索システム」を市議会ウェブサイトに掲載しています。これにより、本会議での内容を記録した「会議録」、委員会での内容を記録した「委員会録」をインターネットを通じてご覧いただけるようになっています。

市議会ウェブサイトには、阪南市ホームページ下段部分にある「阪南市議会」のボタンをクリックしていただくとアクセスできます。多くのアクセスをお待ちしています。





企業誘致対策について

創生会

はたなか ゆずる 畑中 譲



問 財政が厳しい中、企業を誘致し地域経済の活性化を目指し、雇用を創出し移住・定住を図ること、そして税収を確保することが重要である。ましてや、本市に立地したはずの企業もしくは、本市に立地したであろう企業が他市町へ流れることは絶対に避けなければならない。今後の企業誘致対策について、市長の覚悟を伺う。

今後の企業誘致対策について、市長の覚悟を伺う。  
企業誘致を含めたトップセールスに力を発揮してまいります。(市長)

答 本市には、プレーヤーもたくさんおられることから、その方たちと連携をしながら、企業と手を組む。一方で、高齢化、人口減少が進んでおり、何も手だてをしないとやはり住めなくなっていく問題がある。そうしたことも含めて両立をしていく必要がある。それをしっかりとやり切っていくためには、ご指摘のとおり、自主財源の確保は必要であり、企業誘致を含めたトップセールスに力を発揮してまいります。



▲企業誘致が一定完了している阪南スカイタウン

コロナフレイルの取組と進捗状況について

市民くらぶ

おか やよい 岡 やよい



問 各オール阪南でフレイル予防に関する講座や体操を進めていく中、介護予防効果のある体操教室を縮小するとに矛盾を感じている。元気しゃつきり教室縮小後の対応を問う。高齢者に関わらず子どもの時期のフレイル問題がある。長引くマスク着用の習慣によって息苦しさから無意識に口呼吸になり集中力が落ちるなどの影響がある。口腔機能発達に効果のある「あいうべ体操」を学校で導入してはいいかがか。

口腔機能発達に効果のある「あいうべ体操」を学校で導入してはいいかがか。  
紹介いただいた方法なども含め、様々な情報を学校現場に提供し、子どもたちのよりよい成長につなげてまいります。(生涯学習部長)

答 元気しゃつきり教室は介護予防に取り組みきつかけづくりとなるよう展開していく必要性が高いことから、新たな募集では、新規の方が取り組みやすいコースの設定とともに既存の方にも引き続き参加いただけるコースを設定する。フレイルは高齢者だけでなく、子どもの時期の問題でもあることから紹介いただいた方法なども含め、様々な情報を学校現場に提供し、子どもたちのよりよい成長につなげてまいります。

その他の質問事項

- 認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けられる取組について
- 地域の状況に応じた公共交通と地域内交通について
- TEAM EXPO 2025年共創チャレンジについて



政務活動費の交付実績を、  
阪南市議会ウェブサイトにて公開しています。

平成28年度交付分より、議員ごとの政務活動費の交付状況及びその用途、領収書等を公開しており、現在、令和3年度分までを公開しております。市議会ウェブサイト、「政務活動費について」よりご覧ください。



## あなたも議会を傍聴しませんか

市議会には定例会（3月・6月・9月・12月）と臨時会（必要の都度）があります。傍聴には難しい手続きは不要です。本会議当日、議会事務局の受付で住所、氏名等を記入していただくだけで自由に傍聴できます。議場の定員は34人です（先着順・受付開始時間は8時45分から）。また、委員会室や市役所ロビーでのテレビ中継も行っています。どうぞお気軽にお越しください。

また、傍聴された方を対象にアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、6月定例会の傍聴者数は、延べ21人でした。

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時に検温及び手指消毒のご協力をいただいております。



会議録は、図書館・公民館・情報公開コーナー、または市議会ウェブサイトでご覧いただけます。

なお、6月定例会の会議録は8月末頃に完成予定です。

次の定例会は、  
**9月6日(火)**からの  
予定です。

詳しくは議会事務局まで

☎471-5680(直通)

## 地方創生臨時交付金の活用について

公明党

ふたがみ かつ勝



**問** 公明党阪南市議会議員団は、令和4年5月23日に水野市長へ、「地方創生臨時交付金（コロナ禍における原価価格・物価高騰対応分）の創設に伴う緊急要望」を提出した。その中の一つである「学校や保育所、幼稚園、認定こども園等の給食について質・量を低下させないこと、また、給食費について保護者の負担増を抑止すること」を要望させていただいたが、本市の取組をお聞かせ願う。

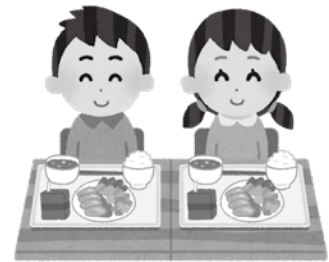
**答** 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、学校給食事業における食材の物価高騰が課題である。教育委員会では、給食費について、保護者の皆様への追加負担をお願いすることなく、児童・生徒に必要な栄養バランスや栄養価を整えた学校給食を安全・安心に継続して提供することを目標として、今回の臨時交付金制度を活用し、物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減事業の実施を検討している。

「地方創生臨時交付金の創設に伴う緊急要望」を提出したが、本市の取組をお聞かせ願う。  
物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減事業の実施を検討している。（生涯学習部長）



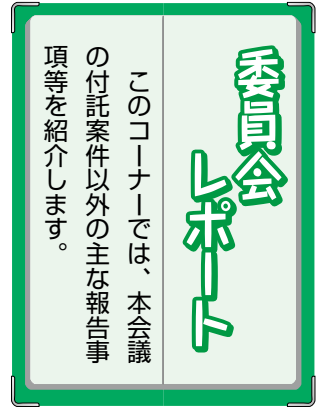
○SDGsについて  
○大阪府立泉鳥取高等学校について

### その他の質問事項



## 議会だより発行月は 5月・8月・12月・2月です。

これまで、5月・8月・11月・2月の年4回、議会だよりを発行してきましたが、議会だよりの印刷・配布業務のスケジュール変更に伴い、11月号を12月号として発行しておりますので、よろしくお願い致します。



子育て拠点整備特別委員会 6月16日

「阪南市子育て拠点再構築」について

公立幼稚園・保育所の再構築計画の概要と進捗状況について

(尾崎幼稚園・尾崎保育所)

両園所を統合し、令和4月に幼保連携型認定こども園飛鳥ゆめ学舎に統合しております。

(はあとり幼稚園・朝日幼稚園)

市の東部における保護者の選択肢として令和4年4月にははあとり幼稚園に統合しております。

(まい幼稚園)

市の西部における保護者の選択肢として運営を継続しています。

(石田保育所・下荘保育所)

第2ステージとして下荘地区の市有地を活用することとし、開園時期については第1ステージの進捗状況や財源確保、社会情勢の変化等を見極め進めていきます。施設の老朽化対策など、

当面とるべき対応についてはその範囲を精査して行うこととし、令和2・3年度、必要な範囲について老朽化対策工事を実施しております。  
本年3月までの4つの公立幼稚園、3つの公立保育所がそれぞれ2つになつていく現状です。

令和3年9月策定の阪南市行財政構造改革プラン改訂版において、子育て拠点の再構築のあり方の検討は、公民の役割分担を踏まえ、保育所及び幼稚園の設置のあり方を検討すること、子育て施設の再構築を中長期的取組としております。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

**委員** 令和4年度各園所児童数について、公立のまい幼稚園3歳児11人、はあとり幼稚園は21人しかいないが、施設として適正かどうか認識を伺いたい。

**子ども未来部長** 子どもの数が減る中で、保護者が公立幼稚園を選ぶ就園形態は減少している事実はある。その中でも公立幼稚園へ通わせて就学前教育を受けた保護者がこれだけいるという意味では適正であると考えている。

**委員** 市内の就学前児童数が市内の私立認定こども園の定数の合計より少なくなる未来がすぐそこにあると思うが、考えは。

**子ども未来部長** 就学前児童の人口減少は全国的なものである。一貫して再構築計画の中で申し上げているのは、公立の持つ特性は行政として維持していくということである。



**委員** 各園の保育内容について、保護者のニーズや小学校に通う子どものいる家庭にアンケートをとってはどうか。

**子ども政策課長** 保護者向けのアンケートは、毎年大阪府が公立幼稚園・認定こども園に対して実施しており結果は市でも把握しており参考にしている。市が子ども子育て支援事業計画を策定する際、保育所や私立施設の財源や就学前児童向けアンケートも実施しているの、それらも参考に検討してまいりたい。

**委員** 第1ステージで時間をかけた分、財政が厳しいのだから無駄のない第2ステージをもう一度考え直していかなければならぬと思うがどうか。

**市長** 無駄のない再構築は非常に重要と考えている。育児と仕事が両立できるように体制を整えていかなければならないし、保護者ニーズの把握と公民の役割分担を早く示していきたいと考えている。

**委員** 公立保育所に通うこどもが減少している一方、私立認定保育所に通うこどもは増加している。石田と下荘保育所統合後の公立認定こども園であるべき根拠が弱いのではないか。

**子ども未来部長** 子ども子育て会議等で議論していただいた中で、行政として公立施設として守らなければならない子どもたちがいる認識が非常に強い。セーフティネットを提供する施設としてさまざまなこどもたちに教育・保育を確実に確保するために公立の施設は必ず必要と考えている。





議会改革推進検討会  
～議会基本条例の制定に向けて～

【これまでの経過】

令和2年7月21日に議会活性化と議会改革推進のために設置した『議会改革推進検討会』において、『議会基本条例』の策定に向けて、精力的に議論してきました。

この間、議論してきた内容を今任期（令和3年10月1日から令和7年9月30日まで）の議会へ申し送りがあり、令和3年11月25日に、『議会改革推進検討会』を再設置し、条例の制定に向けて、進めているところです。

また、制定に向けて、近隣の先進市（岸和田市議会・大阪狭山市議会・泉佐野市議会）を視察致しました。



▲岸和田市議会（令和4年4月26日）

【今後の予定】

現在、条例制定に向けて、原案を作成しているところで、作成後には、パブリックコメント及び市民説明会を開催する予定としており、令和5年4月1日の条例施行に向けて、精力的に取り組んでまいります。



▲泉佐野市議会（令和4年7月4日）



▲大阪狭山市議会（令和4年6月30日）

議会基本条例 策定スケジュール（案）

	R4 8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月	4月
原案の作成	■	■	■	■					
パブリックコメントの実施 (議会だより12月号で周知)					■	■			
市民説明会					■	■			
パブリックコメント及び 市民説明会実施後の調整						■	■		
上程、議決								■	■
施行									■

議会改革推進検討会会員

- 座長 中村 秀人
- 副座長 浅井 妙子
- 会員 山本 守
- 会員 百々 麻希
- 会員 百々 甲誠



これまでの『議会改革推進検討会』の概要はこちら

編集後記

いよいよ梅雨明けも近づき夏本番が迫っていますが、お身体の調子はいかがでしょう。早いもので、昨年10月から始まりました現委員による議会広報編集委員会も、今回で最終を迎えました。広報を通じて、議会や議員が少しでも身近に感じて頂けましたら幸いです。本市が、市民の皆様により愛されるまちになるためには皆様の声が必要です。これからは皆様の声が必要との架け橋になるよう、読みやすく工夫進化を続けてまいります。最後に、新人議員であり、何もわからない状態の中、たくさんの方々にご指導とご協力を頂き携わらせて頂いたことに大変感謝を申し上げます。ありがとうございました。（百々 麻希）

「ご意見」をください

議会広報 編集委員会委員

- 委員長 岡 やよい
- 副委員長 百々 麻希
- 委員 山本 守
- 委員 畑中 謙誠
- 委員 上甲 敏和
- オブザーバー 岩室 秀人
- 議長 中村
- 副議長

本誌が、皆さんにとってより身近なものになりますよう、内容やレイアウトについてのご提言等なんでも結構ですので、ご意見・ご感想がございましたら、左記までお寄せください。

〒599-10292  
阪南市尾崎町35番地の1

議会広報編集委員会

TEL 471-5680(直)

e-mail ghkai-syomu@city.hannan.lg.jp